



世界水産物連盟ニュースレター

2022年8月



ジャパンインターナショナルシーフードショーへの出展

GSAは8月24日(水)から26日(金)にかけて東京ビッグサイトにて開催されたジャパンインターナショナルシーフードショーに出展致しました。

3日間で300名以上の方々にブースにお立ち寄りいただきました。



GSAの出展ブース



国内で流通しているBAPロゴ付き商品の例

初日にはセミナー「**外食産業向け！サステナブル調達～BAP認証の活用について～**」も開催致しました。

中国の水産物消費者の最大の関心事は食品の安全性

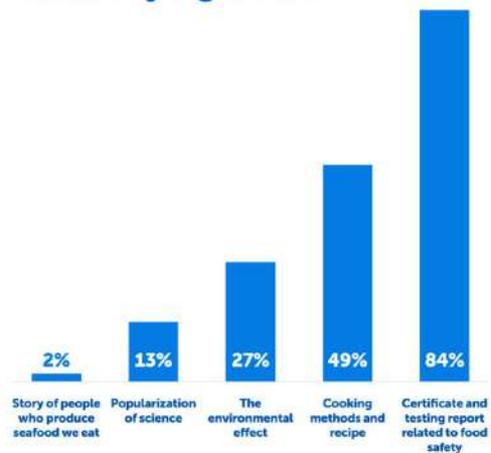
GSAは、消費者の購買意思決定とBAPラベルの影響力と認知度をより深く理解するため、中国の31省で約2,698人の消費者を対象に調査を行いました。調査対象者の91%が40歳以下でした。

調査対象者の約90%が、肉よりも水産物の方が良い選択と考えており、水産物の消費量を増やすつもりであると回答しています。また、ミレニアル世代の水産物消費量は年齢層別で最も多く53%が週に1回以上水産物を消費していることがわかりました。

また、水産物購入の意思決定に最も影響を与える要素は何かという質問に対しては、価格(65%)に次いで、加工施設の衛生状態(56%)と水産物の生産環境、すなわち食品の安全性(51%)がそれぞれ2位、3位にランクインしました。また、84%の消費者が、食品の安全性に関連する証明書や検査報告書は、水産物を購入する際の説得材料になると回答しています。また、62%の消費者がBAPラベルの付いた商品を好んで購入すると回答するなど、BAPラベルは消費者の水産物の購入意思決定に大きな影響を与えることがわかりました。

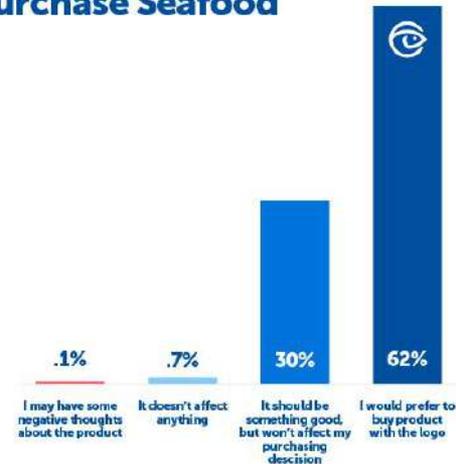
原文は[こちら](#)へ。

Persuasive Information When Buying Seafood



中国の消費者の水産物購入の意思決定に影響を与える要因について

Impact of BAP Label on Consumer's Decision to Purchase Seafood



BAPラベルが中国の消費者の水産物購入の意思決定にどのような影響を与えるか



BAP認証はどこで採用されている？

世界中でマーケット展開しているBAP 認証ですが、具体的にどういった企業で採用されているのか。例えば以下のようなケースがございます。

Red Lobster

1968年アメリカフロリダ州で創業。世界で720店舗を運営するNo.1シーフードレストラン。アメリカに加えてカナダ、アラブ首長国連邦、日本に展開している。弊団体(GSA)の前身GAAが1997年に設立した際の創業メンバーの内の一社でもあり、養殖エビに関してはBAP認証も方針の中で採用している。



Walmart

1962年アメリカアーカンソー州に1号店をオープン。世界で5,000店舗を運営する世界最大のスーパーマーケットチェーン。米国ウォルマート、サムズクラブ、ウォルマート・カナダ、ウォルマート・メキシコ、ウォルマート・セントラル・アメリカでは2025年までに鮮魚、冷凍、天然、養殖全ての水産物でMSCまたはBAP、またはGSSIによって承認された第三者認証からの調達としております。



Amazon

1993年設立。現在はアメリカワシントン州に本拠地を置く。食料品にて、養殖魚に関しては、ASCまたはBAPの2つ星以上の記載あり。



中国の小売業者QdamaがBAP認証水産物の調達に取り組む

中国の小売業者Qdamaは、7月22日に広州市でGSAと締結した覚書の一環として、BAP認証を受けた生産者から水産物を調達することを宣言しました。

消費者への安心を提供するため、Qdamaは責任ある水産物への取り組みを強化するため、BAP認証水産物調達の開始に合意しました。

「食品の安全性は最も重要なことです。それは基本的なボトムラインです。生鮮食品会社は(食品安全を)非常に重視しなければならず、企業の持続可能で健全な発展のための生命線でもあります。」とQdamaのゼネラルマネージャーであるWeihua Feng氏は述べています。また、Qdamaの環境に対する取り組みや、健康的で高品質な食材の調達についても強調しました。Qdamaの品質管理センター長であるTanggen Cheng氏は、Qdamaは2021年に中国の消費者に2万トンの水産物を提供したと述べました。

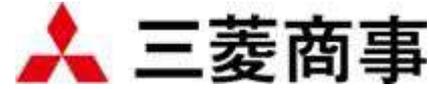
Qdamaは今後、BAP認証生産者からの水産物を優先的に購入し、非認証の水産業者にはBAP認証の取得を勧めていく予定です。消費者にさらに高品質の水産物を提供することは、中国の養殖産業を高め、水産市場が責任ある方法で成長・発展し、私たちの未来に魚を残すことにつながるのです。

午前中のセレモニーの後、Qdama、GSA、BAP認証生産者であるエバーグリーンの共催で、インフルエンサーがエバーグリーンの製品の宣伝を行うライブストリームが行われました。TikTokの短い動画は10万回以上再生され、多くの料理ブロガーが参加して、BAP認証生産者の水産物を使った独自のレシピを紹介しました。

Qdamaが加わったことで、業界をリードするBAPプログラムは、現在30社以上の中国の小売・外食企業がBAP認証の加工工場、養殖場、ふ化場、飼料工場からの水産物を取り扱うことを約束しています。



国内BAPエンドーサー企業一覧



大林組

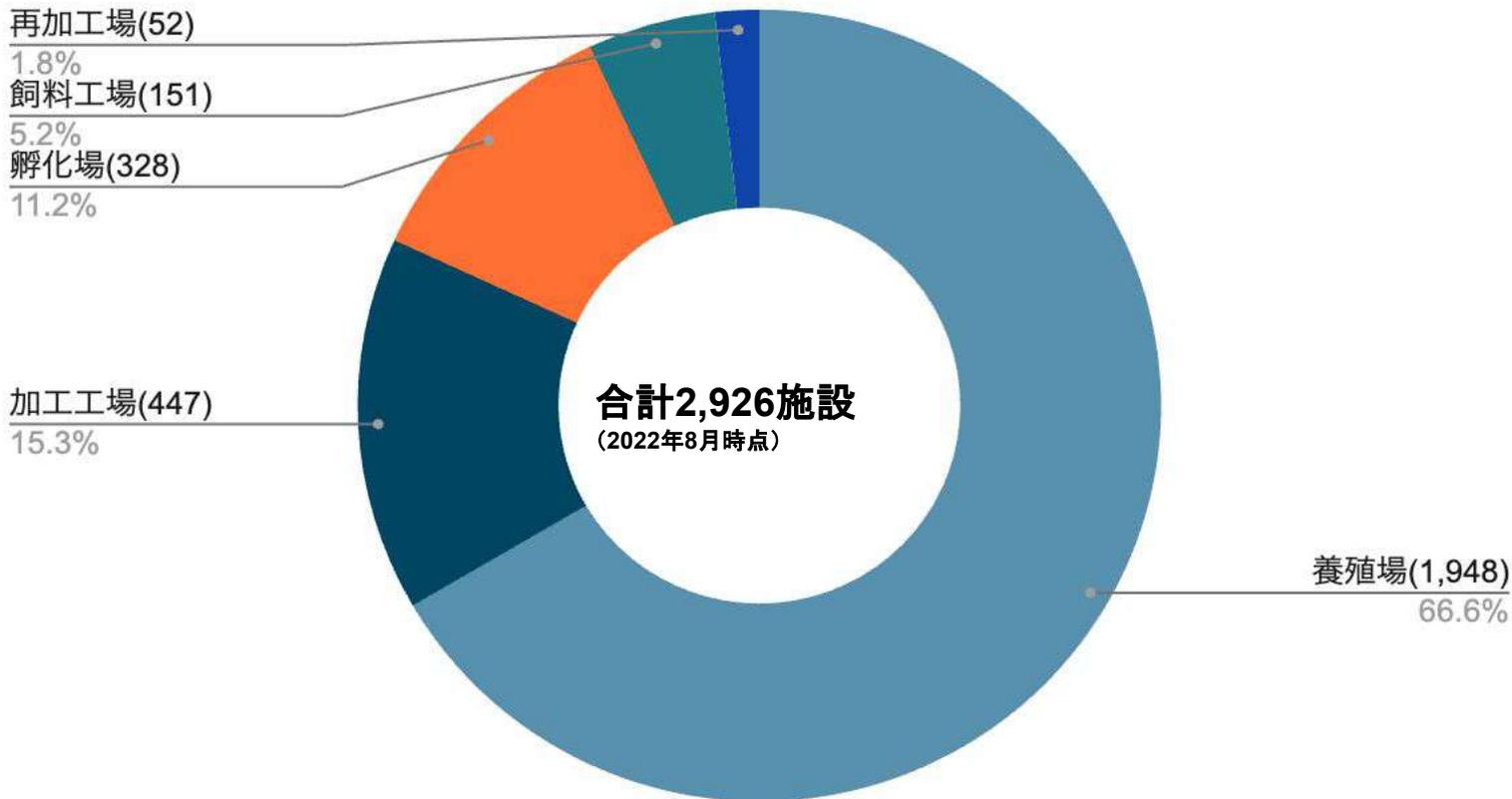
AUDACE



※全28社のうち、23社を掲載

世界でのBAP認証施設数

世界でのBAP認証施設数(2022年8月時点)



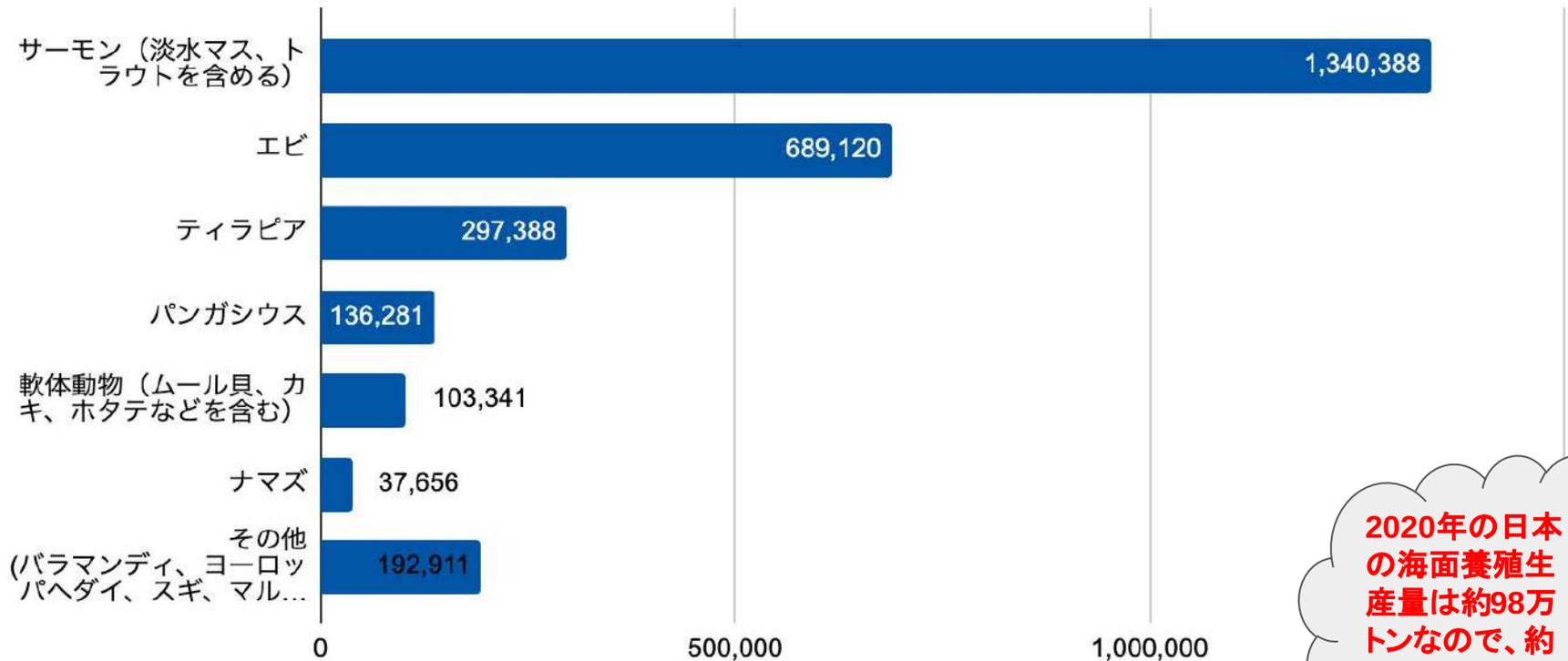
2022年8月時点のBAP認証施設数は2,926件です。

※こちらの数字は各施設の直近の監査結果より集約されております。

現時点での日本での取得施設は無し。

魚種別のBAP認証生産量

2022年8月時点 (単位：トン)



2020年の日本の海面養殖生産量は約98万トンなので、約2.85倍！

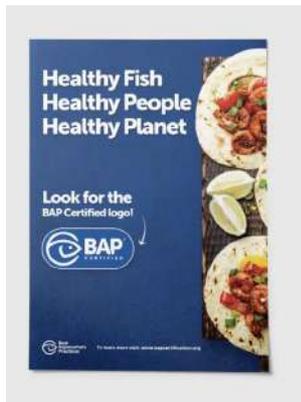
2022年8月時点、BAP認証水産物の世界合計は279万7085トンです。

36カ国で29魚種を認証済み。

※こちらはBAP認証を取得している全養殖場の直近の監査結果からの数字です。

BAP認証フェアの企画大募集中です！

BAP認証を運営するGSAではマーケティングサポートも積極的に行っております。
共同でのイベントをご希望の方は日本マーケット担当芝井までご連絡下さいませ。
それぞれのイベントのご要望に合わせて打ち合わせをさせて頂き、必要に応じてポスター、ポップ、
その他ビデオ、ステッカー等々を 無料にてデザイン、納品致します。
※必要枚数の印刷に関しては各企業様でご負担を頂きます様お願い致します。



Front (4" x 6")



Back (4" x 6")



マーケティングサポート用にご用意ができる資料は以下をご参照下さいませ。

<https://drive.google.com/file/d/1COWGrAKVCVoEldZzmsOcSIXJZHcQ5-5h/view?usp=sharing>

マーケットとして導入しやすいBAP認証

ふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場はBAP認証の対象になり、年に一度の監査が必要になります。商品の加工が発生しないサプライヤー、小売、社員食堂やレストランなどのフードサービスはエンドーサー合意書の締結のみで、無料でBAPロゴの使用やリリース、レポート等での発信が可能になります。

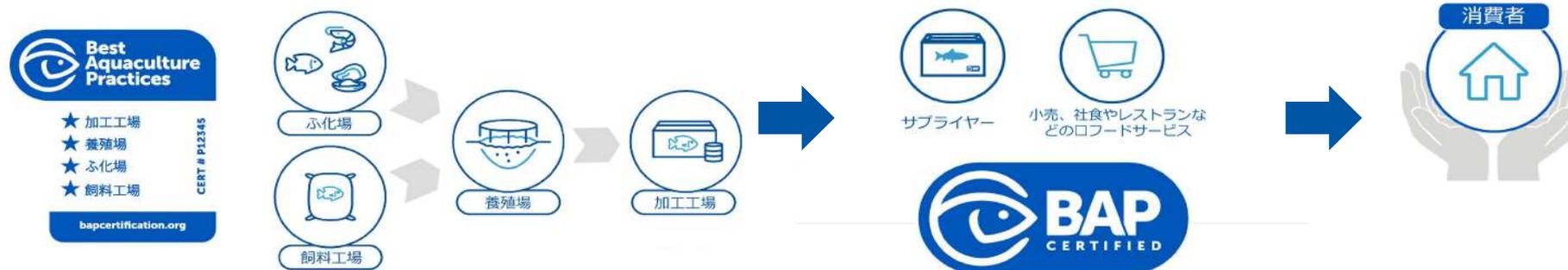
特例1: 個別包装された商品を開封、再梱包またはラベルの張り替えをせず、商品の梱包やラベルをそのままの状態での流通する場合について。その施設は加工工場認証の取得対象外になり、エンドーサー合意書の締結のみ必要となりBAPロゴ付き商品として、そのまま販売して頂けます。

特例2: 最終消費現場での商品の加工、調理、再包装、またラベル張り替えをする場合は加工工場認証の対象外となり、エンドーサー合意書の締結のみでロゴを使用いただけます。(スーパーのバックヤード加工、飲食店・レストラン・ホテルの調理場加工など。)

また、複数の水産物を使用した製品に関して、使用された一部の水産物がBAP認証であればロゴマークを使用することができます。可能な限りどの水産物がBAP認証なのかを明記してください。詳しくは[こちら](#)よりBAP認証ロゴガイドラインをご参照ください。

ふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場はBAP認証の対象となります。

BAP認証水産物を販売促進または購買支援する企業はエンドーサー契約の対象となります。



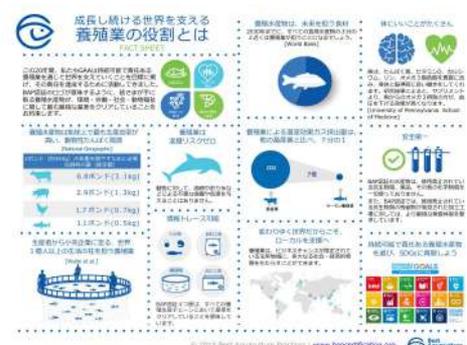
BAP認証の日本語版の各種資料について

BAP認証に関する日本語の三つ折りパンフレットや、各種資料を以下のリンク先より無料ダウンロードすることができます。是非ご活用下さいませ。

<https://info.globalseafood.org/ja-jp/bap>



[GSAとBAP認証のご案内](#)



[養殖漁業ファクトシート](#)



[BAP認証ロゴマーク使用ガイドライン](#)



[2020年次レポート](#)

BAP認証の日本語ロゴについて

BAP認証の日本語版ロゴを用意しております。
 利用をご希望の方は芝井までお問い合わせください。
kota.shibai@globalseafood.org



魚と人の
未来のために



責任ある
養殖水産物の
国際基準



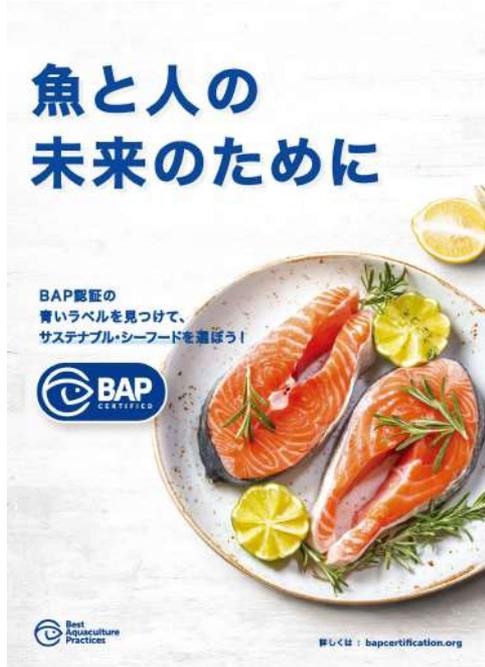
国際基準を満たした環境で
養殖されています



海と魚を守る安心の
BAPマーク



きれいな海で獲れた健康な
魚介類の証



ニュースレターに関するお問い合わせは以下までお願い致します。
※二次利用をご希望の方はお問い合わせ下さいませ。

世界水産物連盟 日本マーケット担当
芝井 幸太

メールアドレス：
kota.shibai@globalseafood.org

電話番号：
080-2167-0086

BAP認証ウェブサイト
<https://japan.bapcertification.org/>

※配信停止をご希望の方は、こちらまで「配信停止」とご連絡くださいませ。

